

花さき山

タイトル文字：滝平二郎



イベントインフォメーション



おはなし会

10月11・18日(日)
14:00~14:30



★スタンプカードをお配りしています。
おはなし会に参加するとスタンプを1こ
おします。
スタンプ5こでプレゼント贈呈!

ブックスタートクラブ

毎週水曜日 視聴覚室解放

9:00~17:00

ボランティアの方や子育て支援センター
の先生による子育て相談や絵本の読みきかせ↓

10月14(21)・28日(水)
10:00~11:30

※丸数字は 11:00~11:30

ハロウィーンパーティ

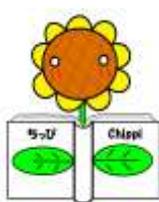
10月25日(日)
13:00~15:00

場所：視聴覚室



朗読劇や手遊び、パネルシアターなど、
ご家族で楽しめるパーティです。
ささやかなプレゼントもありますよ♪

仮装でのご参加、大歓迎!!



みんなで「壁デコ！」

～初冬編～

図書館の玄関を皆さんの手で飾りませんか?

11月1日(日) 14:00~15:00

場所：視聴覚室

定員：20名

10月1日より受付開始!!

☆どなたでもご参加いただけます。
(ただし、小学2年生以下
のお子さんは保護者同伴)



アンドモア

～特別整理休館日のお知らせ～

10月5日(月)から10月9日(金)まで、蔵書点検および館内整理作業のため、
全館休館となります。休館中、本の返却は「図書館玄関入口のブックポスト」を
ご利用ください。

ただし、ブックポストに「視聴覚資料」や「相互貸借資料」の返却は出来ません。
10月10日(土)以降、図書館カウンターへ直接お返し下さい。

図書館カレンダー、特集コーナーはご来館の際、ご確認ください。



「めもあある美術館」

渡辺 信之

「めもあある美術館」をご存じでしょうか。童話の中に出てくる「美術館」。その童話は、こんなお話でした。

兄弟げんかをした末にお母さんにしかられて、気がむしゃくしゃしていた主人公の「ぼく」は、いつの間にか見知らぬ古道具屋に行き当たります。そこでは、見知らぬ男が「ぼく」の亡くなった“おばあちゃんの絵”を買い取っています。その男に連れられてたどり着いたのが「めもあある美術館」でした。

美しいポプラ並木の向こうに「めもあある美術館」がありました。美術館の中に入ると、たくさんの扉が並んでいます。そのうちの一つの扉には、「ぼく」の名前が書かれています。部屋に入ると、壁という壁に絵が飾られています。不思議なことに、ひとつひとつの絵には、みんな見覚えがありました。飼っていた犬、幼なじみの友だち…。

最後の絵の前に来ると、そこには、お母さんにしかられて、ふくれっつらをして、裁縫箱を蹴飛ばしている「ぼく」が描かれています。

最後の絵の次からは、ずっと何も描かれていない真っ白な額。

そこでその男が「ぼく」に言うのです。

「君はね、これからも絵を描き続けて行くんだ。このたくさんの額の中に。ここの美術館には、だれでも、いつでも、見に来ることができるんだよ。前に自分が描いた絵を見るのは、楽しいものだよ。」

ふと我に返ると、そこは自分の家の前でした。春も近い、ある日のできごとでした。

このお話は、小学校6年生の時の国語の教科書に載っていた物語（作：大井三重子）です。その時は、「不思議なお話だなあ。」という印象と、「これから自分は、どんな絵を描いていくんだろう。」「どんな将来が待ち構えているんだろう。」「豊かな未来があるといい。」などと全く漠然とした感覚をもったような気がします。

「本」というものは、不思議なものです。読み手の年齢や経験、心のありようで読んだ後の感じ方が全く違うものです。私も、小学校6年生の時に比べれば年を重ねました。「めもあある美術館」の中の私の部屋にももうずいぶんたくさんの絵が飾られていることでしょう。その一つ一つの絵は、振り返ってみるのに楽しいか、恥ずかしいか、悲しいか。何とも言えない感覚に包まれます。

グラウンドでは、額に汗を輝かせて、体育祭の練習に向かっている子どもたち。そんな子どもたち一人一人の「めもあある美術館」の中の絵が豊かなものになるように、ほんの少しでもお手伝いができれば、そう願っているところです。

（わたなべ のぶゆき / 筑西市立関城中学校 教頭）

